

スーパーグローバル大学創成支援事業
令和4年度フォローアップ調査票

大学名		申請区分	タイプA
事務担当者	氏名		所属・職名
	TEL		E-mail

※フォローアップ調査票の内容等について連絡の取れる事務担当者を御記入ください（複数の担当者がある場合でも代表者1名を御記入ください）。また、E-mailについては、複数人が確認可能なメールアドレスを御記入ください。

目標の進捗状況

I. 共通観点2 「共通の成果指標と達成目標」		
①教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合		
	令和4年度 (R4.5.1) 実績	
外国人教員等 (A)	0 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍の教員、外国の大学で学位を取得した日本人教員、外国で1年以上または3年以上の教育研究歴のある日本人教員について、それぞれの数と全専任教員数を記入する。 ・ 「外国の大学で博士号を取得した日本人教員」はタイプA選定大学のみ記入する。（タイプB選定大学に対しては、現時点で当面は調査を行う予定は無いため、空欄とする。）
うち外国籍教員	人	
うち外国の大学で学位を取得した日本人教員	人	
うち外国の大学で博士号を取得した日本人教員	人	
うち外国で通算1年以上3年未満の教育研究歴のある日本人教員	人	
うち外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	人	
全専任教員数 (B)	人	
割合 (A/B)	- %	
②職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合		
	令和4年度 (R4.5.1) 実績	
外国人職員等 (A)	0 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍の職員、外国の大学で学位を取得した日本人職員、外国で1年以上の職務・研修経験のある日本人職員について、それぞれの数と全専任職員数を記入する。
うち外国籍職員	人	
うち外国の大学で学位を取得した日本人職員	人	
うち外国で通算1年以上の職務・研修経験のある日本人職員	人	
全専任職員数 (B)	人	
割合 (A/B)	- %	

④全学生に占める外国人留学生の割合				
		令和4年度 (R4.5.1) 実績		
外国人留学生数(A)	0	人		
	(うち女性	人)		
	【内訳】			
	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド
	0人	0人	0人	0人
うち在留資格が「留学」の者	人	人	人	人
うち在留資格が「留学」以外の者	人	人	人	人
全学生数(B)	0人			
割合(A/B)	-%			
		令和3年度 (通年) 実績		
外国人留学生数(C)	0	人		
	(うち女性	人)		
	【内訳】			
	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド
	0人	0人	0人	0人
うち在留資格が「留学」の者	人	人	人	人
うち在留資格が「留学」以外の者	人	人	人	人
全学生数(D)	人			
割合(C/D)	%			
⑤日本人学生に占める留学経験者の割合				
		令和3年度 (通年) 実績		
単位取得を伴う海外留学経験者数(A)	0	人		
	(うち女性	人)		
	【内訳】			
	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド
	0人	0人	0人	0人
うち学部(B)	0	人		
	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド
	人	人	人	人
うち大学院(C)	0	人		
	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド
	人	人	人	人
全学生数(D)	0人			
うち学部(E)	人			
うち大学院(F)	人			
割合(A/D)	-%			
割合(B/E)	-%			
割合(C/F)	-%			
教員の指導の下、3ヶ月以上研究派遣された大学院生数(G)	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド
	人	人	人	人
割合(G/F)	-%			

・外国人留学生のうち、在留資格が「留学」の者、「留学」の在留資格を有さない短期留学生等について、それぞれの数と全学生数を記入する。

注1) 外国人留学生数(A・C)には在日外国人は含まない。
注2) 全学生数(B)は学校基本調査の定義を引用(5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。
注3) 外国人留学生数(A・C)を記入するにあたっては、
○実際に渡航した学生(実渡航)
○自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(オンライン)
○実渡航とオンライン受講を行った学生(ハイブリッド)
それぞれの実績を入力してください。

・オンライン交流については、別紙「令和4年度におけるコロナ禍を踏まえた「スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)」及び「大学の世界展開力強化事業(展開力)」の評価やフォローアップの在り方について」を参照し、
オンラインA: コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
オンラインB: もともとオンライン実施で準備していたもの
オンラインA・オンラインBそれぞれの実績値を記入してください。

・全学生数と、日本国籍を保有し正規課程に在籍する学生で、且つ、単位取得を伴う留学を経験した学生の数を記入する。この場合、留学期間は問わない。
・大学院生について、教員の指導の下、3ヶ月以上の研究派遣された学生の数を記入する。この場合、単位取得の有無は問わない。

注1) 単位取得を伴う海外留学経験者数(A)については、過去の経験は除き、当該年度に申請大学において単位認定された学生数を計上。
注2) 当該年度に同じ学生が複数回、単位取得を伴う留学を経験した場合であっても1人として計上。
注3) 全学生数(D)は学校基本調査の定義の全学生から外国人留学生と在日外国人を除いた数(5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。
注4) 単位取得を伴う海外留学経験者数(A)及び教員の指導の下、3ヶ月以上研究派遣された大学院生数(G)を記入するにあたっては、
○実際に渡航した学生(実渡航)
○自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(オンライン)
○実渡航とオンライン受講を行った学生(ハイブリッド)
それぞれの実績を入力してください。

・オンライン交流については、別紙「令和4年度におけるコロナ禍を踏まえた「スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)」及び「大学の世界展開力強化事業(展開力)」の評価やフォローアップの在り方について」を参照し、
オンラインA: コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
オンラインB: もともとオンライン実施で準備していたもの
オンラインA・オンラインBそれぞれの実績値を記入してください。

⑥大学間協定に基づく交流数						
		令和3年度 (通年) 実績				
大学間協定に基づく派遣日本人学生数 (A)	〇	人			<ul style="list-style-type: none"> ・外国の大学との連携・交流協定に基づき交流した学生数を記入する。 ・日本人学生及び外国人留学生について、単位取得を伴う人数と、伴わない人数を学部生・大学院生別に記入する。 	
	(うち女性 〇 人)					
	【内訳】					
	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド		
	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		〇 人
うち単位取得を伴う学部生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人	<ul style="list-style-type: none"> 注1) 当該年度に同じ学生を複数回、派遣・受入した場合は延べ数で計上。 注2) 年度またぎの派遣・受入の場合はどちらの年度においても計上。その際、申請大学において単位認定された年度については「うち単位取得を伴う・・・」に、その他の年度については「うち単位取得を伴わない・・・」にそれぞれ計上。 注3) 日本人学生(A)の定義は、日本国籍を保有し申請大学の正規課程に在籍する学生。 注4) 大学間協定に基づく派遣日本人学生数(A)及び大学間協定に基づく受入外国人留学生数(C)を記入するにあたっては、 ○実際に渡航した学生(実渡航) ○自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(オンライン) ○実渡航とオンライン受講を行った学生(ハイブリッド) それぞれの実績を入力してください。 	
うち単位取得を伴わない学部生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		
うち単位取得を伴う大学院生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		
うち単位取得を伴わない大学院生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		
全学生数(B)	〇 人					
割合(A/B)	〇 %					
大学間協定に基づく受入外国人留学生数 (C)	〇	人			<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン交流については、別紙「令和4年度におけるコロナ禍を踏まえた「スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)」及び「大学の世界展開力強化事業(展開力)」の評価やフォローアップの在り方について」を参照し、 オンラインA：コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したものの オンラインB：もともとオンライン実施で準備していたものの オンラインA・オンラインBそれぞれの実績値を記入してください。 	
	(うち女性 〇 人)					
	【内訳】					
	実渡航	オンラインA	オンラインB	ハイブリッド		
	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		〇 人
うち単位取得を伴う学部生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人	<ul style="list-style-type: none"> 注) ・通年 ・複数セクション=複数カウント ・語学としての授業を除く ・開設科目 	
うち単位取得を伴わない学部生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		
うち単位取得を伴う大学院生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		
うち単位取得を伴わない大学院生数	〇 人	〇 人	〇 人	〇 人		
全学生数(D)	〇 人					
割合(C/D)	〇 %					
⑦外国語による授業科目数・割合						
		令和3年度 (通年) 実績				
外国語による授業科目数(A)	〇	科目			<ul style="list-style-type: none"> ・外国語及び英語による授業科目数と全授業科目数を記入する。 ・外国語(または英語)による授業科目とは、全授業を日本語ではなく外国語(または英語)で実施する授業科目とする。 	
うち学部(B)	〇	科目				
うち大学院(C)	〇	科目				
英語による授業科目数(D)	〇	科目				
うち学部	〇	科目				
うち大学院	〇	科目				
全授業科目数(E)	〇	科目				
うち学部(F)	〇	科目				
うち大学院(G)	〇	科目				
割合(A/E)	- %					
割合(B/F)	- %					
割合(C/G)	- %					
割合(D/E)	- %					

⑧外国語のみで卒業できるコースの数等		
	令和4年度 (R4.5.1) 実績	
外国語のみで卒業できるコースの設置数 (A)	0 コース	<p>・外国語のみで卒業できるコースの設置数、全学位コースの設置数、外国語のみで卒業できるコースの在籍者数及び全学生数を学部・大学院別に記入する。</p> <p>注) 全学生数 (J) は学校基本調査の定義を引用 (5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。</p>
うち学部 (B)		
うち大学院 (C)		
全学位コースの設置数 (D)	0 コース	
うち学部 (E)		
うち大学院 (F)		
割合 (A/D)	- %	
割合 (B/E)	- %	
割合 (C/F)	- %	
外国語のみで卒業できるコースの在籍者数 (G)	0 人	
うち学部 (H)		
うち大学院 (I)		
全学生数 (J)	0 人	
うち学部 (K)		
うち大学院 (L)		
割合 (G/J)	- %	
割合 (H/K)	- %	
割合 (I/L)	- %	
⑨学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組		
外国語力基準		
	令和3年度 () 実績	
外国語力基準を満たす学生数 (A)	0 人	<p>・大学において定めた外国語力基準及び時点を記入するとともに、当該基準を満たす学生数を学部・大学院別に記入する。</p>
うち学部 (B)		
うち大学院 (C)		
全学生数 (D)		
うち学部 (E)		
うち大学院 (F)		
割合 (A/D)		
割合 (B/E)		
割合 (C/F)		

⑩ナンバリング実施状況・割合		
	令和4年度 (R4.5.1) 実績	
ナンバリングを行っている授業科目数 (A)	0 科目	・ナンバリングを行っている授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。 注) ・5月1日時点 ・複数セクション=1カウント ・語学としての授業を含む ・開設科目
うち学部 (B)	科目	
うち大学院 (C)	科目	
全授業科目数 (D)	0 科目	
うち学部 (E)	科目	
うち大学院 (F)	科目	
割合 (A/D)	- %	
割合 (B/E)	- %	
割合 (C/F)	- %	
⑪シラバスの英語化の状況・割合		
	令和4年度 (R4.5.1) 実績	
シラバスを英語化している授業科目数 (A)	0 科目	・シラバスを英語化している授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。 注) ・5月1日時点 ・複数セクション=複数カウント ・語学としての授業を含む ・開設科目
うち学部 (B)	科目	
うち大学院 (C)	科目	
全授業科目数 (D)	0 科目	
うち学部 (E)	科目	
うち大学院 (F)	科目	
割合 (A/D)	- %	
割合 (B/E)	- %	
割合 (C/F)	- %	
⑭年俸制の導入		
	令和4年度 (R4.5.1) 実績	
年俸制適用者 (教員) 数 (A)	人	・教員及び職員について、年俸制適用者数 (教員・職員別)、全専任教員数及び全専任職員数を記入する。
全専任教員数 (B)	0 人	
割合 (A/B)	- %	
年俸制適用者 (職員) 数 (C)	人	
全専任職員数 (D)	0 人	
割合 (C/D)	- %	

⑩事務職員の高度化への取組

外国語力基準		
	令和4年度 (R4.5.1) 実績	・大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、当該基準を満たす専任職員数を記入する。
外国語力基準を満たす専任職員数（A）	人	
全専任職員数（B）	0 人	
割合（A/B）	- %	

⑪TOEFL等外部試験の学部入試への活用

	令和3年度 (通年) 実績	・TOEFL等外部試験による入学定員数及び全入学定員数を記入する。
対象学部入学定員数（A）	人	
全入学定員数（B）	人	
割合（A/B）	- %	

共通観点2の各指標（①～⑩）における特記事項

（This area is currently blank for special notes regarding the indicators ①-⑩.)

特記すべき成果、成果の普及等

【特に優れた取組】

（This area is currently blank for special achievements and dissemination of results.)

オンラインで実施した国際教育・交流プログラム等（上記④～⑥に該当するもの以外）

●本来実渡航で行うべきところ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてオンラインで実施した国際教育・交流プログラム

開催月	プログラム名称	参加者数
		人
		人
		人

その他

（This area is currently blank for other information.)